

「三十年後の宝塚」

今から三十年たつと、四十才。

そのころは、どんな宝塚になつてゐるかな？

わたしは、のんびりした宝塚になつてゐるとい

いな。というか、いまよりも、せかせかした

宝塚じゃなくて、今とちつともかわつてなく

てわたしは、いいと思つてゐるんだ。でも、三

十年後は、宝塚にいないかもしれないから

三十年後になつても宝塚が、かわつてゐるか

かわつてないかなんて、いなか、たらわたり

ないよ。でも、宝塚がもし、マニシヨニま

かりで、木がなくなつてたらイヤだな。ここ

は、木が、少し寂いかもしれないから、ハッ

てたら、なんか、すごくニヨツクかも……。

そ水と長尾南小学校がすーとあつたら、い

いのになり。他の市からも宝塚、てすごくおも

しろい所だよ。たのしいよ、ていわれたら、す

ごくうれしと思ふんだ。三十年たつても

植木の町であつたらいいのにね。すっか

りせんせんここが宝塚みたいじゃなか、たら

木がい、ほいで、かわつてたり、まあいいけ

い、とかいになつて車、い、はい走しつて

宝塚がきたなくなつてかわつてたら、いやだ

な。長尾南の先生もせんせんかわつてなくて

なにもかも、かわつてない宝塚だ、たら、宝

塚にかえつてきて、なつかしく、て、なんに

もかわつてなかつたらいいのにな。植木の町

もそのまんまで、マニシヨニもこれ以上、ふ

えてなくて、かわつてなくて、長尾南小学校

もちゃんとおつて子どもにもど、たような気

持ちでこの宝塚にかえつてこれたり、すごく

うれしいと思ふ。この五年一組のみーんな

この宝塚にいて、また、みんな集まつて、た

まに遊んで、そんなことが本当にできたら、い

いのにね。先生もいっしょにみんないっしょ

で、みんな性格も顔もかわつてなくて、五年

生のときのままで……。そんな宝塚になつて

ほしい。私の願いです。

きれいな町の宝塚

十年後の宝塚には川がきれいになつてお  
よげるほどきれいな川になつていてほしい。  
十年後には無理かもしれな。けどいつかは  
なつてほしい。そしてボランティヤやそうゆ  
うことがさかんになつてほしい。私もそうゆ  
うこと一度やつてみたい。

私の長尾南小学校が震災の時たきれいなな  
るはずだ。たのができなくて、今度こそ十年  
後に見にきたときはせつたいにきれいな学校  
がいな。だつて気もちいいもんね。

このあいだバザーでコースターを買つた。  
それを母さんにあげたらその五百円のコース  
ターのお金は作つた人ももらわなくてしせつ  
とかのお金になる。だからいいことしたつて  
言われた。だからそうゆう物を作るのも一  
つのボランティヤだと思ふ。そつかうのは私  
においているかもしれな。そうゆうのは私  
そうゆうお金があつまつてしせつか健こら

るお金になつたしするならみんなて協力した  
らいい。一人五百円だ。たらうちの小学校全  
員で六百円ぐらいあるから三十万になる。そ  
れならしう理だにはなる。十年後三十  
年後にはすみよくてゴミなんかもみんなが道  
とかにすてなければきれいな町になるだろう。  
これから三十年後まであんな震災おこらな  
いでほしい。けれど明日おきるかもしれな。し  
そんなことだれにもわからな。けど震災はも  
うごめん。一度にたくさんうしなう。けと  
てもいいものを手に入れた。コヤさしさ。と  
思ひやり。だ。体験した人しかもつていな  
ハ大切な心。私もほんのすこしだけもつてい  
る心。三十年後にはみんながもつている心  
にしたい。

こんな宝塚にしたい。

「三十年後の宝塚」

ぼくは、三十年後の宝塚は、木がたたくさん  
 あって、家がきれいな所がいい。今は、木が  
 切りあとで、家が作られていない。でも三十  
 年後は、そんな切りあとしたりなくて、い  
 つぱり木がある所がいい。道もまっすぐし  
 てない、きれいな道がいい。これなら、家  
 じやなく、とっしりしているそのまうな家が  
 いいです。それに、もっと家を大切に作る宝  
 塚がいい。三十年後はそんな宝塚がいいと思  
 います。

三十年後の宝塚

ぼくは、きれいな川をめぐりたい。けど、  
 こんどは、きれいな川をめぐりたい。けど、  
 工業は、生活は、水や、工業は、水が流  
 ているから、川は、きれいな川をめぐりたい。  
 と思うから、きれいな川をめぐりたい。けど、  
 し、それから、ぼくは、今より、多くの森林がほ  
 い。虫もとれるしいちんな草とかも見れる。  
 ももかしたら、森林にたぬきやきつねもいるか  
 もしれない。だから森林があつたらいい。

三十年後の宝塚

今から、三十年後頃は、もう大人。

宝塚も、だいぶんかわってると思う。川がきれいな、たりして、くらしもゆたかになっ  
ていたりしていいな。

畑が、ぶれてマンションがいっぱいたって、

てしりも、おぼんじなくなっ。ていて宝塚市

の人口もふえて、学校の先生もせいもふえて

いて、今よりにぎやかになっていると思います。

技術もはったつしている宝塚になっ。ていて、

て心。公えんでもみんがであつ。てあそん

たりして、すごくにぎやかで、ゆたか多い。んな

子たちで、公えんも、いっぱいになっ。ていて、

とほくは、思う。もうは、しん大寶塚みたいな

大きな、るしみがないよつになっ。ていて、ほし

い。

それで、あそびながら、なんでもできて、いて、ほ

しい。

あと三十年で、東京みたいに、住たくば、かりか

もしれない、そう、なっ。ていた。う、住みにくく、  
もちろ、ん、空気がよづれて、る、と思。う。

えう、だ、と、した。う、ら、い、う、し、ま、う。

宝塚は、住たくば、かり、東京、み、た、い、に、す、み、に

く、い、宝塚、じ、な、く、て、す、み、や、す、い、宝塚、か、ぼ、ん、は

、さ、い、い、で、す。

水も、今、い、上、ぎ、れ、い、に、な、っ、て、い、て、ほ、し、い、で、す。

大阪、み、た、い、に、よ、ご、れ、て、い、た、う、川、と、か、自、分、た、ち

た、っ、て、こ、ま、る、か、ら、で、す。

水が、きた、な、か、つ、た、う、魚、も、死、ぬ、し、生、物、が、こ、ま

、た、り、し、ま、す。

水が、きれ、い、な、ら、子、じ、も、た、っ、て、水、あ、そ、び、が、で、き

た、う、よ、ろ、こ、が、ま、す。

水が、きた、な、い、よ、り、きれ、い、の、ほ、う、が、せ、つ、た、い、に

ま、し、で、す。

だから、ぼくは、きれ、い、な、水、か、い、い、で、す。

三十、年、後、も、ず、つ、と、す、つ、し、き、れ、い、た、し、て、な、っ、て

い、た、う、い、い。

宝塚も、何、年、た、こ、た、っ、て、き、れ、い、な、宝塚、で、あ、っ、て

ほ、し、い、で、す。

「三十年後の宝塚」

三十年後の宝塚には、身近に自然があつて  
ロボットや子どもでも安全に運転できる車な  
どあつてほしい。

宝塚は、自然が多いので今よりもつと多く  
て、大きな森や公園が十二ぐらゐあつてもい  
いと思う。

そのほか、阪神・淡路大震災で家を失つた  
人たちなどももう仮設ではなくて、ちゃんとし  
た、一戸建てやマンションなどになつて、  
不自由なくくらすせてると思う。

阪神大震災でライフラインがとだえたけれ  
ど、三十年後には、ライフライン全部がトン  
ネル状の中に人がいっしょに入れるくらい  
空間があるので、もし阪神大震災クラスの地震  
かきてもマンホール一つあけるだけでライフ  
ラインの修理などかんたんに行きうるし、いち  
いち道路をほり返して、時間もかか

るし、この二とぼつかりやっていると、建  
物のぶつキもうちおそくなるし、震災がっこ  
うかどつてもお水でしまつのでライフライ  
ンなど地下にしまつたらいいと思います。  
三十年後ほくらは、四十一さいだけどその  
ころになるともつこの事業などが達成されて  
いるかもしれない。楽しみです。

「三十年後の宝塚」

NO 1

三十年後の宝塚は、今のように、自然を破  
 かいをして、マンションなどをつぎつぎ作る  
 ために、自然を残していくべきだと、とても  
 うれしい。そして、自動車のはいきかえがす  
 こしでもいいからへつていってほしい。なぜな  
 る、はいきかえは、空気をよごすし、はいき  
 がすで、公害になる人もいるから、はいきが  
 えは、すくなくなくてほしい。でも、なつて  
 ほしいことにはならず、自動車の数がふえて  
 はいきがすだらけになって空気がよごれて  
 公害になる人もいっぱいになって、田んぼや  
 畑や木が全部切られて、大阪や東京みたいに  
 ビルだらけになっていたらどうしよう。でも  
 みんな努力して自然を守ってあげば三十年後  
 にも、自然が残っていると思う。それに、ビ  
 ルやマンションがたっついていなければ、宝塚で  
 一番でかいむさ川だっつてあると思う。もしむ  
 さ川があれば、魚を見たいから、自然を残し

NO 2

てほしい。でも、三十年後にならなるとどう  
 なるかわからない。もしかして、ビルがあっ  
 ても、田んぼや畑がすこしあるかもしれない  
 それに、川も残っていて魚がいるかもしれな  
 い。でも、ビルがたてば、住む人もふえて、  
 自動車もふえるから、それだけはいきかえも  
 ふえるということになるから、ビルなどはた  
 ってほしくない。それに、工場も新製品を作  
 るためと言って、いっぱいできてほしくない。  
 なせなら、工場から出るはいき物は、人を公  
 害にさせる原因でもあるし、鳥など死ぬかも  
 しれないし、それに、工場からきたなり水を  
 川へ流すから、それで、川の魚は死んでしま  
 うから、あまり工場はできてほしくない。や  
 っぱり三十年後には、自然や田んぼや畑がい  
 っぱいあって、ビルがたっついていなくて、はい  
 きかえがへつていると、とてもうれしい。





# 「三十年後の宝塚」

三十年後の宝塚は、田んぼや畑がない任  
たくばかりだと思う。今でさえもほとんどが  
家で畑や田んぼがすくない。今から五年  
前ほど、学校周辺は田んぼや畑だった。し  
かし、五年間で自然がなくなり家が多くなり  
人口も増えた。そうなれば遊ぶ場所もなくな  
る。あたしたちはお母さんの子どもものころ  
より遊ぶがすくない。外で遊ぶことより、  
家の中でこもってテレビゲームをやっている。  
だから、すぐ体が弱くなりほねをおっしてしま  
う。今がこんなんだら、たら三十年後はどう  
なんだらう。車いすの人はかりがなま。  
科学の進歩で人間がどんどんくるしいじま  
うき。うになつてきた。はいきが스가車から  
でて、空気がよごれ、それをすう、わたした  
ち。だから、三十年後はマスクみたいなもの  
をづけなくちゃいけないかもしれない。  
そうならないように、わたしたちがしなくち

やいけない。三十年間のあいだに、自然がな  
くなる生きてもいけないから、三十年で、地  
球がこわれたら、今までのことがすべて  
なくなってしまう。だから、自然を大切にし  
て、空気をよごさず、今よりもきれいな宝塚  
になつてほしい。

三十年後の空塚

三十年後にはぼくは4才たしお母さんとい  
 しょの位のとしたからけこ人してたう子  
 とももいるだううけどそのときにはもうか  
 さじ住たんにすんでる人はいなくちやんと  
 一けんややマンシヨことかに住んでいてほし  
 いたって仮さい住たくほ冬は寒くて夏は暑  
 いしあまり大きくないそうだから住んでる人  
 も不使でいやださうからちんとした家にす  
 んでいてほしい。  
 いほかにほしん災で破そんしたとちく物や  
 その他の物をおっていてほしい。だてこわ  
 れた物はダザッぱにかつやとする物はちん  
 とをおっててるかもしれなけけどまだほかに  
 震災のときこわれてそのままほう地されてる  
 物も今あるさうだから三十分後にはさうゆう  
 物はちやんとなくなっいてほしい。  
 そのほかには三十分後には科学のまじりつ

20X20 5-4 E/F

も進歩していとらしも豊かになつていた  
 うけとぼくはそんなことよりも自然が豊か  
 になつたほうかうれしい大人は科学が進歩し  
 てくらしが豊かになつたほうがいいていう  
 大人もおおいけど子どもたちにもあ自然  
 が豊かになつて山や林が多くて公園もいっば  
 いっくつてほしい川もきれいで魚がいっぱ  
 いおおいでるくらいのほうが楽しんでいいと  
 思うそれにも思ひんだけびなせ大人は公認でい  
 たいへんな事けんをおこしてしまつたのによ  
 だてらしも豊かにしようとしているそんをぶ  
 うになつて自然が消えていったらとうぜん遊  
 び場所も消えて子どもたちも勉強ばかりにな  
 ちやうからそんを思ひは子どもたちにしてほ  
 しくないかどう自然がゆたかなほうがいいてほ  
 しくは思つた。  
 ほかにもしじぬがなくなつてほしい。ぼく  
 の子どもがいじめられちゃうううまひとが  
 したうシヨククダしたいいしいじめてる人は  
 自分がイライラしてるからって人をなぐるの

20X20 5-4 E/F

はいけないと思つてそんな人だらうらうしてると  
 だつたら生き物以外のものもなればいいじ  
 やないかそんな人で自さつした人もいるんだ  
 からいいめはなくなつていてほしい。  
 さつきから三十年後にはぼくがなつていいた  
 らいいなと思つたことおいつてたけどそれが  
 びびるのぼくはぼくたち位の子どもたちなんだ  
 からぼくもがんばらなくちや

三十年後の家

ぼくは三十年後マンションが低くて高い所  
 がこゆくないようだったらしい。それで大人  
 は車で小人はゴーカートにのりたい。学校に  
 行くのもちかくてうしろのうしろのうしろの  
 へろくこのヤミリーランドもこのりものが  
 あつているのがいはい。ふも大きな地震がおき  
 て道もぐちぐちになつて家もたおれてい  
 た。けいぼくの家はたいじようぶだつた。け  
 い今でもかせつじやうたぐにすんでゐる人ば  
 さむいだろうしたたねる所をつくらうな物  
 だ。それにやてゐる人はかゆいぞうだ。しやう  
 のへまをしても大きな地震はおきてほしくな  
 りました。あんなくらうはみんないたくなか  
 らだ。東家はしやうたつた。木がとておつた。ばい  
 あつてしよもきれいで子どもおとしやりの  
 人にしんせつにしてあげるとこもみんまの  
 心がかせしきつてもきれいな土地になつて  
 ましい。たぶんそうなるにはおもわなけい。

### 三十年後の宝塚

ぼくは、三十年後の宝塚は、平和でみどり  
が多い七んせつな宝塚にしたい。今  
今は、殺人事件とかがあるから、三十年  
後の宝塚は平和な気がする。東京み  
た、東京みたりな、住たくかい、ほい家がない  
ようにみどりがある町がいい。み  
みどりば人間の命をすくうから、東京み  
いな町だとみどりがなから空気がわるい  
ら。三十年後のぼくの家はおしろみ  
たいな家に住むんだ。そしてアメリ  
カでドジャスをパブで、ゆうし  
ようさすんか。そしてプールデ  
ンクラブをもち、ぼくは、ゆう  
たになるのが三十年後のこと。

### 三十年後の宝塚

ぼくは、十年後には、分せつじゅう  
たんに住んでいる人が減っていて、公園  
がいっぱいあって、川がきれいな  
な。あぶないところがなく  
な。かげきにも、よたくさんの  
人たちが見にきてくれて、森林を  
大切に、植木をもち、森林をもち、  
よふせしてほしいです。それと、  
いたずらをする人がいなくな  
るようになり、三十年後には、技  
術が発達して、いい町にして  
もらいたいし、べんりな道具を作  
って、ゆたかな町になり、みんな  
が思いをしないよ。うな町にし  
てもらいたい。そして、それ  
に、もつと宝塚が、有名になっ  
てもらいたい。ぼくは、宝塚  
がある。なんでも知らなかつた  
。ていつたから、もつと有名  
になつてほしいです。

### 三十年後の宝塚

ぼくは、三十年後の宝塚は、平和でみどり  
が多いにせつな宝塚にしたい。今は、殺人事件とかがあるから、三十年  
後の宝塚は平和な気がする。  
東京みたいなの、住たくかい、はい家がたない  
ようにみどりがある町がいい。  
みどりは人間の命をすくうから、東京みた  
いな町だとみどりがたないから空気がわるい  
ら。  
三十年後のぼくの家はおしろみみたいな家に  
住むんだ。  
そしてアメリカでトジャスをヤブトムで、  
ゆうしようさすんだ。  
そしてボールペンクラブをもち、  
ぼくは、ゆう名になるのが三十年後のこと。

### 三十年後の宝塚

ぼくは、十年後には、かせつじゅうたんに  
住んでいる人が減っていて、公園がいっぱい  
あって、川がきれいになって、あぶないところ  
がなくなっていて、かげきにも、とたくさんの  
人たちが見にきてくれて、森林を大切に  
植木をもち、作って、森林をもち、ふせして  
ほしいです。それと、いたずらをする人がい  
なくなるようにしてもらいたい。三十年  
後には、技術が発達して、いい町にしてみ  
たいし、べんりな道具を作って、ゆたか  
な町になり、みんなが思いをしないよ  
うな町にしてみたいです。そして、  
これに、もつと宝塚が、有名になってもら  
いたい。ぼくのいとは、宝塚市があるだ  
なんて知らなかつた。ていつてたから、もつ  
と有名になってほしいです。

三十年後の宝塚

私は三十年たつたら、自然さうさうな宝塚を予想の宝塚市になつていてほしいです。たぶん三十年たつたらいろいろと科学も進歩していると思ひます。けと科学を進歩させるために大量な木などは取らないでほしい。そうしたらどんどん自然がなくなり、動物たちのすみかまでうばわれ、ていさ科学が進歩すると言ふことは、生活が便利になつて行く、と言ふことだけになにも動物たちの住む所までとらないでほしい。生きているのは人間だけじゃなく、ほかにもたくさんいると言ふことがわかつている宝塚になつていてほしいと思ひます。

それともう一つ元氣な宝塚でいてほしいと思つたのは、千九百九十五年一月七日に阪神大しん災がありました。あの時はまた私は、尼崎市にいたけど宝塚市だけでも約190人の方たちがなくなつています。全部で約六千五百

2022 5-4 E4C

の人たちがなくなりました。わたしは生まれはじめの大地しんの体けんをしました。地しんがあつた一月七日と三月の終わりごろまでクラスのみんなもいつもいてたスーパームつかレもなんたかともさみしいかんじがしました。や、ばり地しんでのシヨッワが大きか、たのです。ニユースでも神戸市などが火事になつたりいきうめにされた人たちのニユースがよく出ていました。わたしは前の学校の先生が、しん度ワや大きい地しんかおると必ず火事かるといつていたのを思い出したの、で本当に地しんのあとは火事かおこるんだなと思ひました。だから私は、つらいことがあつてもおちこまないでいつても明るく元氣な宝塚市がいいなと思ひました。

最後に、戦争や今や、ていさパールの人質事けん、ロシアの国の船がちんほつして重油か日本海に今もたたよ、ていさ事けんなどかあつて、三十年後の宝塚市はこのような事けんや事故などかおこらない平和な宝塚市

2022 5-4 E4C

「十年後の宝塚」

今の宝塚から十年た。たらなるか。考えた  
 今日、1月17日、震災から二年になった。  
 今日でもう二年もた。たなんて気がつかか  
 た。

二年前の朝、目をあけるとゆれて、お父さん  
 がぼくのつくえをひしで支えていた。その  
 後、お父さんが「下に行け」と言っ、て行っ、て  
 みると家の中じやいようにぐちゃぐちゃだっ  
 た。

でもその時ぐらぐら、としたからぞく、とし  
 た。

その後や、ぱりおふるこがスは使えなかつた  
 からせんとうに行。た。そのころはおふるに  
 へれなかつたからおふるほあまり入れなかつ  
 た。だからせんとうのおふるに入。つたらすま  
 く気持ちよかつた。

今日、テレビを見て家を立てたのしい生活

をしている人もいるけど、かせつにすんる  
 人もいる。だから十年後は、だれもかまらな  
 いじょうぶな家をたてたのしい生活にしたり、  
 がス、電気水道がとま、てもこまらない生活  
 ができるよ。な十年後になつてほしい。

三十年後の宝塚

ぼくは、三十年後の宝塚は、人のにぎやかな所にしたり。だ、今ぼくのすんでいる所は夜の11時ごろになるとぼうそうぞくがぎてうるさく、アツアツアツアツと、人に迷わくをかけてたうるさくしているだけ。い、な、り、が、ぼくか思う三十年後の宝塚と今の宝塚は、<sup>森林</sup>が、い、っ、ぱ、り、で、緑の町とか、ぼうそうぞくのい、な、り、ゆ、た、が、な、町とか、まだほかに、い、っ、ぱ、い、ある、な、ぜ、森林が、い、っ、ぱ、り、で、緑の町と考えたが、それは、今、道路がいにある木は、い、い、ん、だ、け、ど、シ、ャ、ト、レ、ー、セの横の小さな大切な林が、シ、ョ、バ、ル、カ、ー、ヤ、ダ、ン、<sup>フォ</sup>カーで、い、っ、ぱ、い、運、ば、れ、て、も、う、は、げ、み、たい、に、木、が、な、い、な、ん、で、人、間、は、自、然、を、は、が、り、す、る、の、か、木、は、大、切、な、役、目、を、し、て、い、る、そ、れ、は、木、は、ぼ、く、た、ち、人、間、に、大、切、な、<sup>酸素</sup>を、出、し、て、く、り、<sup>酸素</sup>が、な、い、る、か、ら、だ、そ、の、木、か、ら、出、て、い、る、<sup>酸素</sup>が、な、

かつたら、ぼくたち人間は生きていけないうらだ。こま、た、こ、た、それとも一つ。ぼうそうぞくのい、な、い、ゆ、た、が、な、町というの、今、ぼく、の、す、ん、で、い、る、町、に、11、時、ご、ろ、に、な、る、と、ぼ、う、そ、う、ぞ、く、が、ア、ツ、ア、ツ、ア、ツ、ア、ツ、と、うるさくかかましくはげし、い、音、で、ぼ、く、の、家、の前をとお、て、り、く、

ぼくは、三十年後の宝塚は、森林が、い、っ、ぱ、り、で、ぼ、う、そ、う、ぞ、く、の、町、に、し、た、い、で、す、





「助け合う宝塚」「緑が多い宝塚」

十年後か、三十年後の宝塚は、助け合う

宝塚になっ、てほしい

例えば、友だちや、こまっ、ている人を、見

らけたら、助けて上げたり、助けあっ、たりす  
る宝塚になっ、てほしい。

このごろ、緑を切っ、てしまっ、て、緑が少な

くなっ、た。だから、十年後は、緑を切らな  
いようにして、緑がいっ、ぱいある、宝塚になっ

てほしい。

それと、家族で、車にのっ、て遊ぶに行っ、た

時に、ごみをいっ、ぱいすて、る所を、見つけ

た。すぐ、きたなかつ、た。だから、ごみを

すてないで、ごみが、一つも、ない宝塚になっ、て

ほしい。それで、きれいな、宝塚になっ、てほ

しいです。

それと、今、川が、とても、きたないです。だ

から、私たちが、大人になるまでには、水を、き

けいにして、ほしいです。そこで、もし、子

どもが、いたら、きれいな川で、およいだりし  
て、遊べるから、水が、きれいな川に、なっ、て  
ほしいです。

あとは、このごろ、マンションが、いっ、ぱい  
たっ、ている。そのうち、マンションだらけに  
なっ、てしまっ、つ。だから、マンションを、あま  
り作らないうようにして、みどりをもたせつ、に  
したらいと思っ、つ。

三十年後の宝塚

いろんなおねえさんがあつた。いろいろな人な人と、た  
 くさん、はなしばしおしゃべり、いろいろおしゃべりして  
 したり、してしていろいろおしゃべり、じしんじしん  
 たいないうひびきあふもほいし、し学校もたたく  
 人の人がびびるなびびるなびびるなびびるなびびる  
 じしんじしんじしんじしんじしんじしんじしんじしん  
 やくせいかくに、たくさんおねえさんがあつた。に  
 たいが、でもらひたいからしゃしゃくが、おねえ  
 したりもうやうに、おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり  
 しめから、おねえさんに、おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり  
 027年には、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 びたいが、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 たいして、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 いたし、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 ちが、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 みんなが、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん

三十年後の宝塚

三十年後の宝塚、いろいろな人な人と、た  
 くさん、はなしばしおしゃべり、いろいろおしゃべりして  
 したり、してしていろいろおしゃべり、じしんじしん  
 たいないうひびきあふもほいし、し学校もたたく  
 人の人がびびるなびびるなびびるなびびるなびびる  
 じしんじしんじしんじしんじしんじしんじしんじしん  
 やくせいかくに、たくさんおねえさんがあつた。に  
 たいが、でもらひたいからしゃしゃくが、おねえ  
 したりもうやうに、おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり  
 しめから、おねえさんに、おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり  
 027年には、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 びたいが、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 たいして、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 いたし、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 ちが、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん  
 みんなが、おねえさん、おねえさん、おねえさん、おねえさん

三十年後の宝塚

今から三十年後は何ぞくらい。そのころ  
 私はどうなつて。宝塚はどうなつて。そのころ  
 三十年後には。かせつじやなくて。みんな  
 が便利な生活が送れるようになった。いてほし  
 い。宝塚に住んでいる人達がいつもここにこ  
 笑顔下いてほしい。じしんとは心にさせさ。た  
 やりだと思ふ。下もこれからみんなががんば  
 った。そのやりをと。てほきたい。がじしんは  
 自然。ふ。こう作業は人の手きかいた。た。たの  
 手と自然を比べると。だんぜん自然が勝つてし  
 まう。つまりやりは。完全にとれる物じゃな  
 い。そのやりは他の人がとんなにがんばつて  
 もとれることのない。大げかなんだ。

三十年後の宝塚は

もうちよ。と交通きか  
 んが便利になつてほしい。下も自然をこわさ  
 ずに上手にや。てほしい。

この世界は生きている。花も木も草もそし  
 て人もだからだがが苦しむと周りが助けな

いといけないんだ。それなのに私達は自然を  
 いじめている。みんなが少し気をつければ自  
 然もうれしがら。人は頭が良いとうれしがら  
 下も先祖から守られてきた自然をつぶして子  
 孫のため。自然を残してきているのだから  
 頭が良いはいいのか。

三十年後は小さい子から大人の人までいつ  
 もここに笑つていて。交通も少し便利にな  
 った。でも自然の動物を見る時とても優しい気  
 持ちになれるようになった。ていた。

これができるようになるためは今、私達は  
 子孫のために自分も下まきろようになった。たら伝  
 えていけると思ふ。

今とても大切な物は

自分の心

だと思ふ



三十年後の宝塚 五年

NO.1

ぼくはいじめのない宝塚がいいと思います。ぼくはいじめられたことはあんまりないからわかるけど、ニュースでいじめられて自殺した人がいると言っているから、宝塚にもそんな人がいないようになっっているといいと思います。あとは人神大震災のような大きな災害や地震がない宝塚になっ、てほしいと思います。それはぼくの学校の長尾南小学校は地震のせいであつたりしている所がたくさんあります。ぼくはなれているからいいけど、三十年後の子どもたちに、そんな学校で勉強するのもたいへんだから地震や災害がおきてほしくないです。あと、仮せつ住たくに住んでいる人が多か。だからです。夏にすごく暑くて、冬はすごく寒いそうです。せまくて不便な仮せつ住たくにひびいときは二年ぐらい住んでいなければなりません。そんなたいへんな生活を二年間も続けてほしくないので、ぼくはは人神大震災がおきるまで、

02X02 05-4 02E

NO.2

あんなにすごい地震は体験したことがないから、すごくよかった。たびす。このこわい思いを、三十年ごの人たちにしてほしくないと思いました。

02X02 05-4 02E

三十年後の宝塚市

びよつきな人もまぶになおつて、元気がす  
 すが、お見れる宝塚市になつていてほしい、  
 いづもえがおで笑つて、いるような人々のす  
 が、おたくさんみれる市でいてほしい。  
 きよ、うぶをわすれ、笑つて、いるすがたが、  
 見たい。いつも幸わせの日々が、つづいて、小  
 さな子どもたちも、ないたりしない、  
 しんで遊んでいて、だれもが、命を、  
 大切にしている市になつて、学校のどつ  
 ぶつたちも、毎日、毎日、幸わせの時をす  
 びしてほしい。車のはりきは、すまは、  
 体に悪い物を、海も、山も、町も、市も  
 すべてが幸わせで、魚たちは、きれいな水でお  
 ぼき、すくすく、さだつて、いって、山では、森や  
 木が、大きに、そだち、そして、また、小さは、  
 芽を出し、きれいな花を、さかせ、町では、  
 つもに、まな、たのしい、話題が、たくさん出  
 て、時かんを、あつた、たのしい時を、あつし

02-01-04 02-01-04

市では、色々な花を、育て、どつぶつを、愛して、  
 いるすがたが、みえる。私は、おもしろい、くや  
 しいおみだき、なくしたい。かんどうして、  
 なくのは、いいけれど、かなしくて、なく  
 ば、おだ、いめた。だつて、三十年後の宝塚市  
 は、楽しい市で、まっとうな判断が、よくつて  
 おとしよりには、しんせつにして、ほんの、  
 小さな命も、大切に、ながいきが、でき  
 る、ように、してあげたい。いっしょに、  
 んめいに、いきて、いる人には、それなりに、  
 幸寄せた、なつて、ほしい。三十年たつた、つて  
 五十年たつた、つて、明るく、元気で、幸寄せ、お宝塚  
 市になつて、いることを、心から、願う。

02-01-04 02-01-04

私の宝塚

No. 1

今日、1月17日は、震災から二年たった。私にとつて宝塚は一番最初に住んだ、オオト川才までのいろいろな思い出、くやしき時、ああ、学校行きたくない、なあと思つた時、つれしかつたとき、そんな生活や毎日のようすが、つまつてゐる宝塚、引、こしなうてしたくない、1995年、1月17日、午前5時何分かにあった、阪神あわじ大震災があつた、私はこんなことは一度もなつたことじやないから、なに、もしかしてじしん？、家はつぶれちやうの？、外に出なさいだめ？、もえない？、そんなことをかんがえながらも私は自分でもなせかわからなかつた、なんともなく地球にあやまつた、心の中下すつと、どうしてかわからないけれど、宝塚、ごめん、ごめんね、じと、いつづけた。

いつの間にかおわつた、次の日もその次の日

1995. 1. 17

No. 2

も、いつもとちがう生活をして、7000人、近くの人もなくなつてしまつた。これはだれのせい？、だれがやつたの？、と思ひました。あのゆれ、たつた少しの間しかなくつたのになんてそんな大きくの人がなくなり、重しよををおつたり、かなしんだり、くるしむの、だれがやつたの？、それは、人がかわいそう、だとかいふけど、一番かわいそうなのが地球そのもの、だと思ふ。なんにもなければこんなことなんてなかつた、地球にいきよをあたえてかは、私は、そんなことはしらない、でも私の宝塚、みんなの宝塚、それに、宝塚だけじゃない、ほかもある。こうべなんて、テレビでみたけど、こうべに住んでいたらそれはなりに私たちがみたい、自分たちのこころ、と思つてゐる、自分の大切なものが、自分たちは、なにもできずにそのまま、めちやくちやになつていくのはいやだ、でもどうしようもない、

でも宝塚とこうべだけじゃない外国もみんな

1995. 1. 17





三十年後の宝塚

ぼくが思う三十年後の宝塚は、平和でとても豊かな宝塚がいい。今以上楽しい宝塚でありたい。長尾南小学校ものこしといてほしい。今、阪神大震災でかせつでくらししてる人達もとても楽しくくらししてるような宝塚を想像する。ぼくもきくと幸せにくらししてるだろう。いや、みんなが幸せにくらししてほしい。三十年後の宝塚、きくと東京みたいに高いビルがならんでいるだろう。それでも自然かのこつているようなきかする。宝塚が、ミリーランドも向かに、かわるのかな？でもきくととても豊かな宝塚に変しんすると思う。平和、豊か、楽しさこの三つで宝塚は大きくかわるだろう。まだものたりない気がするはぶえ。三十年後の宝塚は、2027年だけ宝塚だけでなくみんなの心もかわつていると思う。みんなが助け合い努力して宝塚は、かわる。そうみんなが助け合い努力するところもとても大切だ。この気持ちをみんなは、大人に

No1

なつてもおそれないでほしい一人じやなんに  
 ちできないこのことを思つてほしい。ぼくは  
 そう思つていゝる。だからみんなはいろいろな  
 夢をもつていゝる。その夢をかなえさせるため  
 に努力をしていゝるのだと心からそう思う。

三十年後の宝塚は、ぼくは、こういうものだ  
 と思つていゝる。まだほかにもあるかもしれな  
 い、未来もかわるから。三十年後の宝塚、平  
 和、豊か、楽しさ、みんなが助け合い努力す  
 ること。このな宝塚であつてほしいとおか  
 ています。あと一つ!! ぼくは、しょう来何  
 になつていゝるのかな?

No2



